



# 株主のみなさまへ

## 第56期 中間事業報告

2008.3.1 ~ 2008.8.31





## TOP Message

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに第56期上期（平成20年3月1日から平成20年8月31日まで）の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

## 全体の概要

当中間会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰に起因するガソリンをはじめ様々な商品価格の上昇や米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安などから、景気の減速感が広がる様相となってまいりました。

このような状況のもと、当社では収益向上を図るため経営の効率化や財務体質の強化を推し進め、また経営理念に基づき、心豊かな生活提案を実現する商品やサービスを追求し、売場の改善と品揃えの強化、取扱商品の見直し、店舗の快適性向上に注力してまいりました。

これらの結果、当中間会計期間におきまして、売上高は7,054百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益141百万円（前年同期比636.2%増）、経常利益につきましては、賃貸不動産物件が減少したことにより不動産賃貸収入等が減少したこともあり269百万円（前年同期比73.6%増）、中間純利益に関しましては、収益力の低下等の影響による減損損失83百万円を含む特別損失95百万円が発生したことにより65百万円（前年同期は18百万円の純損失）となりました。店舗数につきましては、前事業年度末より1店舗出店し1店舗退店して57店舗（前事業年度末57店舗）となっております。



## 部門別概要

### ①TSUTAYA事業

会員向けのオンライン販促の強化によりレンタルは前年と同水準で推移しましたが、CD・DVD販売店舗の見直しにより取扱店舗を減少させたことと、ゲームツタヤでの新品ゲームのタイトル不足と、前年に大きく伸ばしたゲーム機本体が今期は反動で低調なため、売上高は3,586百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

### ②BOOKOFF事業

前事業年度と同様に、販売・品揃えを強化したCD・DVDソフトの販売が増加したことに加え、1店舗を出店したことにより、売上高は1,698百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

### ③ゲーム事業

新作ゲームソフトのタイトル不足と、前年に大きく伸ばしたゲーム機本体が今期は反動で低調に推移したことにより、新品、リユースともに前年を下回り、売上高は1,233百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

### ④ファッションその他事業

前事業年度に5店舗閉店した影響もあり、売上高は535百万円（前年同期比20.0%減）となりました。





## 今後の方針

### ①会社の経営の基本方針

当社は、「心豊かになる生活提案を続け、お客様の感動と従業員の成長と幸福を追求します」を経営理念として、より良いライフスタイルを提案し、自己実現のお手伝いをさせていただく生活提案業として、新たな成長と企業価値の向上を目指しております。それぞれの事業において、変化する市場で常にお客様に支持していただける店舗を目指し、お客様満足度と商品提案力を向上させるべく、人材育成と店舗運営力の強化に注力してまいります。

これまでと同様に積極的に内部統制確立への取り組みを進め、コンプライアンスを重視した健全で効率的な経営を進めてまいります。

### ②目標とする経営指標

当社は継続的な成長を目指しており、ローコストオペレーション・従業員一人当たりの人時生産性の管理により、売上高経常利益率の向上を目指して取り組んでまいります。

### ③中長期的な会社の経営戦略

当社は変化する経営環境・顧客ニーズに対応し、継続的に商品やサービスの質を向上させ、お客様に支持されることにより収益力を強化する仕組みづくりを目指してまいります。

TSUTAYA、BOOK OFF事業におきましては、地域ドミナント化を進めるために、新規出店及び店舗譲受を含めた出店施策で地域シェアを高めてまいります。また、既存店の見直しを行い、環境整備・規模の



拡大を図り既存店の活性化・効率化を進めてまいります。また、BOOK OFFをはじめとするリユース事業の拡大と新規事業の開発を目指してまいります。

今後も経営理念の実現に向け、お客様満足度と店舗の環境整備と店舗運営力の向上を図り、健全で効率的な経営の確立を目指してまいります。

以上の施策を的確に実施し、業績の伸展に全力を上げて邁進する所存でございます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 後藤 行 宏



## 貸借対照表

	56 期中間(A)	55 期中間(B)	55 期	(A)-(B)
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>				
現金及び預金	2,283,663	2,264,979	2,164,764	18,683
売掛金	78,095	86,595	78,923	△8,499
たな卸資産	1,597,396	1,705,530	1,712,397	△108,134
その他流動資産	450,918	476,517	499,650	△25,598
<b>固定資産</b>				
有形固定資産	5,439,520	5,709,232	5,620,973	△269,712
無形固定資産	46,584	57,178	44,205	△10,593
投資その他の資産	3,935,246	4,248,980	4,061,783	△313,733
<b>資産の部合計</b>	<b>13,831,425</b>	<b>14,549,013</b>	<b>14,182,699</b>	<b>△717,588</b>
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>				
買掛金	337,226	423,057	394,792	△85,830
短期借入金	800,685	1,056,282	1,094,119	△255,597
その他流動負債	876,258	937,884	682,353	△61,625
<b>固定負債</b>				
社債	460,000	500,000	480,000	△40,000
長期借入金及びその他固定負債	1,013,845	1,303,908	1,190,169	△290,062
<b>負債の部合計</b>	<b>3,488,016</b>	<b>4,221,132</b>	<b>3,841,435</b>	<b>△733,116</b>
<b>純資産の部</b>				
資本金	2,546,671	2,546,671	2,546,671	—
資本剰余金	2,705,505	2,705,505	2,705,505	—
利益剰余金	5,016,814	4,896,605	5,020,450	120,209
自己株式	△317	△317	△317	—
その他有価証券評価差額金	74,734	179,415	68,953	△104,681
<b>純資産の部合計</b>	<b>10,343,408</b>	<b>10,327,880</b>	<b>10,341,264</b>	<b>15,528</b>
<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>13,831,425</b>	<b>14,549,013</b>	<b>14,182,699</b>	<b>△717,588</b>

### \*1 現金及び預金

売上以外の増減要因

- ・ 敷金・建設協力金の回収 113 百万円
- ・ 借入金の返済 479 百万円

### \*2 有形固定資産・無形固定資産

- ・ 減損損失計上による減少 83 百万円

### \*3 買掛金

- ・ ファッションその他事業 62 百万円
- ・ TSUTAYA、BOOKOFF  
ゲーム事業 274 百万円

## 損益計算書

	56 期中間(A)	55 期中間(B)	55 期	(A)-(B)
売上高	7,054,367	7,430,476	14,972,615	△376,108
売上原価	3,955,368	4,303,371	8,630,100	△348,003
売上総利益	3,098,998	3,127,104	6,342,514	△28,105
%	43.9%	42.1%	42.4%	1.8%
販売費及び一般管理費	2,957,570	3,107,894	6,220,272	△150,323
営業利益	141,427	19,209	122,241	122,218
%	2.0%	0.3%	0.8%	1.7%
営業外収益	435,563	477,087	919,405	△41,523
営業外費用	307,309	340,962	664,890	△33,652
経常利益	269,681	155,334	376,756	114,346
%	3.8%	2.1%	2.5%	1.7%
特別利益	1,347	6,709	38,868	△5,362
特別損失	95,956	96,733	158,510	△776
税引前中間(当期)純利益	175,071	65,311	257,113	109,760
法人税、住民税及び事業税	95,522	88,000	127,500	7,522
法人税等調整額	14,129	△3,753	24,704	17,883
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	65,419	△18,935	104,909	84,355
%	0.9%	△0.3%	0.7%	1.2%

### \*1 売上高

・TSUTAYA 事業	3,586 百万円
・BOOKOFF 事業	1,698 百万円
・ゲーム事業	1,233 百万円
・ファッションその他事業	535 百万円
	<hr/>
	7,054 百万円

### \*2 営業利益

売上は減少したが、売上原価及び経費を圧縮したことにより営業利益は増加。

売上高に対する営業利益の比率 1.7%増加。

### \*3 特別損失

・減損損失	83 百万円
-------	--------

## キャッシュ・フロー計算書

	56 期中間(A)	55 期中間(B)	55 期	(A)-(B)
営業活動によるキャッシュ・フロー	622,505	△4,656	114,598	627,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	65,688	△215,331	△185,675	281,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	△568,334	△604,736	△722,784	36,401
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	119,858	△824,724	△793,861	944,583
現金及び現金同等物の期首残高	2,025,902	2,819,764	2,819,764	△793,861
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,145,761	1,995,040	2,025,902	150,721

### \*1 営業活動によるキャッシュ・フロー

・税引前中間純利益	175 百万円
・減価償却費	136 百万円
・減損損失	83 百万円
・法人税等の還付	47 百万円
・仕入債務の減少	△55 百万円

### \*2 投資活動によるキャッシュ・フロー

・敷金・建設協力金の回収	113 百万円
・営業譲受による支出	△23 百万円
・有形固定資産の取得による支出	△32 百万円

### \*3 財務活動によるキャッシュ・フロー

・短期借入金の純増減額	△246 百万円
・長期借入金の返済	△232 百万円
・社債の償還による支出	△ 20 百万円

主要な営業所及び店舗

(2008年8月31日現在)

事業所名	所在地	店舗数
本社	静岡県沼津市	
カルチャー店舗	静岡県沼津市他	23店舗
	神奈川県座間市他	15店舗
	東京都府中市他	3店舗
	愛知県名古屋市他	3店舗
	京都府京都市他	2店舗
	埼玉県狭山市他	2店舗
紳士服店舗	静岡県沼津市	2店舗
カジュアル店舗	静岡県函南町他	3店舗
レディース店舗他	静岡県沼津市他	4店舗
合計		57



FIVETEN Well-D 長泉店



BOOKOFF 横浜緑警察署前店

## 株式の状況

### 大株主

(2008年8月31日現在)

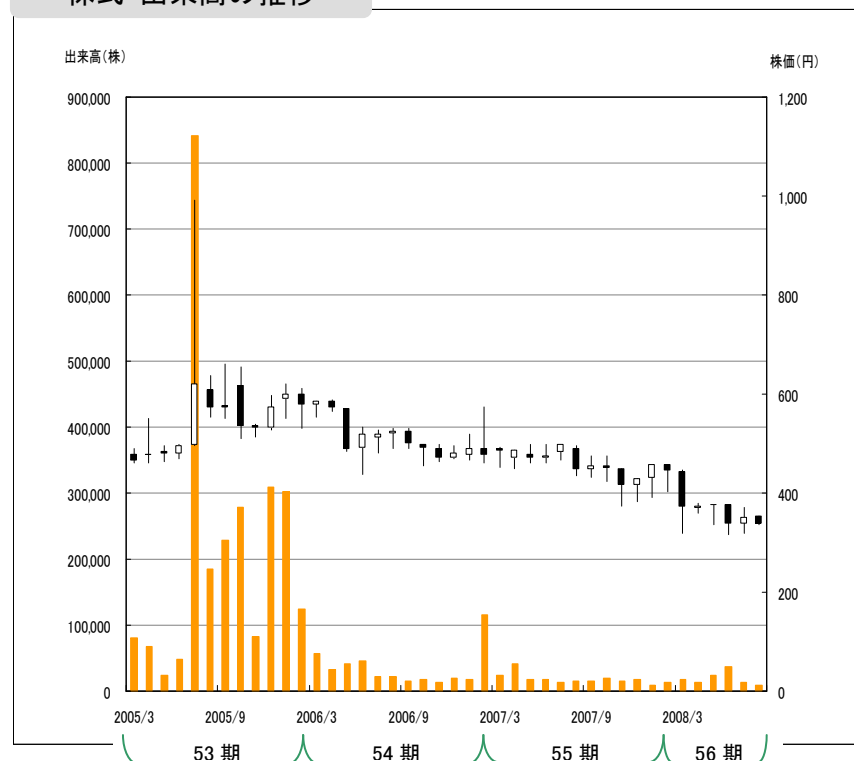
(単位:千株)

株主名	所有株式数(発行済株式総数 に対する所有株式数の割合)
有限会社ゴトーエンタープライズ	3,481,920 (37.8%)
後藤 行宏	1,058,558 (11.4%)
後藤 菊枝	672,832 (7.3%)
有限会社ジーティー企画	520,000 (5.6%)
後藤 全弘	427,150 (4.6%)
ゴトー共栄会	368,100 (3.9%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	231,000 (2.5%)
日本ジャンボ株式会社	188,900 (2.0%)
株式会社静岡銀行	173,000 (1.8%)
株式会社静岡中央銀行	100,000 (1.0%)

■発行可能株式総数	24,634,000 株
■発行済株式の総数	9,207,753 株
■株主数	753 名

(前期末比90名減)

## 株式・出来高の推移



## 役員

(2008年9月1日現在)

代表取締役社長	後藤 行宏
代表取締役専務	後藤 久徳 (事業本部長)
常務取締役	土橋 文彦 (管理本部長)

## 【執行役員】

市川 文宏	(管理本部 人事部長)
後藤 知弘	(内部統制委員会)
高橋 英明	(事業本部 カルチャー事業部長)
小原 政寛	(管理本部 財務部長)
内堀 守	(管理本部 管理部長)



株式メモ	
事業年度	3月1日～翌年2月末日
基準日	定時株主総会については2月末日 その他の必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
利益配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領 株主確定日	毎年8月31日
公告掲載URL	<a href="http://www.gms.co.jp/goto/">http://www.gms.co.jp/goto/</a> 当社の公告は電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120 - 232 - 711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式数	100株

## お知らせ

### 【ご注意】株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

フリーダイヤル 0120-244-479(通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 【2009年1月5日施行予定の株券電子化実施に伴うお知らせ】

### ①株主様の各種お手続きについて

株券電子化後、株主様の各種お手続き（届出住所等の変更、配当金振込指定等）は、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなりますので、お手数ながら、口座を開設されている証券会社へお申出ください。

### ②特別口座について

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、2009年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

### ③特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、株券電子化後、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行の連絡先にお問合わせください。

### ④特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振り替え請求、単元未満株式買取（買増）請求等の各種ご請求先やお届けにつきましては、平成21年1月26日（月）以降にお手続きが可能となりますのでご留意ください。

### ⑤株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関（証券保管振替機構）で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えのうえ、株主名簿にご登録となりますのでご了承ください。

### <ご参考>

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ & A等をご参照ください。（<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>）

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、以下のお電話までお問い合わせください。

「株券電子化」なんでも相談窓口

（「株券電子化コールセンター（\*）」）

フリーダイヤル 0120-77-0915

（通話料無料 平日・土曜 9:00～17:00）

（\*）株券電子化コールセンターは、（株）証券保管振替機構、日本証券業協会、（株）東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

株式会社 **ゴト**

〒410-0063 静岡県沼津市緑ヶ丘10番地の1

TEL (055) 923 - 5100

ゴトホームページ <http://www.gms.co.jp/goto/>